



令和6年度 尚絅大学・尚絅大学短期大学部入試日程

総合型選抜（第1回・第2回）・社会人選抜（第1回・第2回）選考日程

入試区分		実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
総合型選抜 社会人選抜	第1回	全学部 全学科	令和5年9月1日(金)～9月15日(金)	9月30日(土)	11月1日(水)	入学金	書類
	第2回		令和5年12月1日(金)～12月8日(金)	12月16日(土)	12月22日(金)	11月13日(月) 令和6年1月9日(火)	

学校推薦型選抜（指定校・一般・併設校）・外国人留学生選抜・外国にルーツを持つ生徒対象選抜選考日程

入試区分		実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
学校推薦型選抜 (併設校・指定校・一般) 外国人留学生選抜・外国にルーツを持つ生徒対象選抜	大学 全学部	令和5年11月1日(水)～11月10日(金)	11月18日(土)	12月1日(金)	12月14日(木)	入学金	書類
	短期大学部 全学科		11月19日(日)			入学金	書類
	学校推薦型選抜地方会場 (指定校・一般) 【福岡市・鹿児島市・宮崎市】	全学部 全学科	令和5年11月1日(水)～11月6日(月)			11月11日(土)	入学金

編入学選抜選考日程

入試区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
編入学選抜	生活科学部	令和5年12月1日(金)～12月8日(金)	12月16日(土)	12月22日(金)	入学金	書類

《取得可能な資格》

現代文化学部 文化コミュニケーション学科／司書（国家資格）、社会調査士、プレゼンテーション実務士、観光実務士、日本語教師（大学認定）、ウェブデザイン実務士
 生活科学部 栄養士免許（国家資格）、管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭一種免許状、食品衛生監視員（国家資格・任用資格）、食品衛生管理者（国家資格・任用資格）、フードサイエンティスト、HACCP管理者
 こども教育学部 こども教育学科／幼稚園教諭一種免許状（国家資格）、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）（国家資格）、保育士資格（国家資格）
 短期大学部 総合生活学科／秘書士、上級秘書士（メディカル秘書）、情報処理士、レクリエーション・インストラクター、介護職員初任者研修課程資格、社会福祉主事（任用資格）、食生活製菓マスター（大学認定）
 食物栄養学科／栄養士免許（国家資格）、食品衛生監視員（国家資格・任用資格）、フードサイエンティスト、食品衛生管理者（国家資格・任用資格）、社会福祉主事（任用資格）、栄養製菓マスター（大学認定）
 幼児教育学科／幼稚園教諭二種免許状（国家資格）、保育士資格（国家資格）、社会福祉主事（任用資格）

尚絅大学・尚絅大学短期大学部 Web個別入試相談会

尚絅大学入試センターでは、高校生・保護者そして学校の先生方に尚絅の学びや入試についての説明や質問を受け付けるためWeb個別入試相談会を開設しました。

個別相談で「尚絅」の魅力をお伝えできればと思います。お気軽にご相談ください。

申し込み：本学ホームページWeb個別入試相談会申込ページから必要事項をご記入ください。

※相談を希望される前日までにお申込みください。

（月曜日の場合、金曜日の12時までにお申込みを行ってください。）

おひとりでも、お友達や先生、ご家族と一緒にでも相談可能です。

使用アプリ：Google Meet・Zoomアプリを使用します。事前にインストールをお願いします。

時間：平日の9:00～17:30の間が対応可能です。

その他電話・メールでの個別相談もお申込みいただけます。詳細は、本学ホームページをご確認ください。



【お問い合わせ先】 入試センター TEL:096-273-6300 FAX:096-273-6781 E-mail:nyushi@shokei-gakuen.ac.jp

後
塞

世の中はアフターコロナの方向性。以前の生活を取り戻す・元の暮らしが返ってくるというようなことがニュース、ネットでよく見られるようになった。そんなニュースを見ながら、以前より良い、前より進化した、と思えるような生き方、仕事をしていくような人間でありますとを考えつつ、晩酌の量が増加傾向であることを正当化する…。
(N・M)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚絅学園 編集スタッフ/久野恭義、新納ゆりか、齊藤麻理恵、倉寄真優、松下尚史、増本紗希

〒862-8678 熊本中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp

尚絅大学・尚絅大学短期大学部
YouTube公式チャンネル



本学の魅力や特色ある教育・研究を広く紹介する目的で、
本学YouTube公式チャンネルを開設しました。
様々な動画を随時投稿していきますので是非ご確認ください。

尚絅大学・尚絅大学短期大学部
LINE



入試情報や本学に関するさまざまな最新情報をLINEでお届けします。
ぜひ友だち登録をしてください。

ID : @shokei-univ

学校法人
尚絅学園

尚絅大学
尚絅高等学校
尚絅中学校（中高一貫）
幼保連携型認定こども園
尚絅大学附属こども園

尚絅大学・
尚絅大学
短期大学部
ホームページ
尚絅中学・
尚絅高等学校
ホームページ



基礎

ISHIZUE

尚絅学園広報誌

2023年 春夏号
Vol.39



尚絅学園キャラクター
「花くま」



Vol.39 CONTENTS

特集・新任教職員紹介	P1 - P2
尚絅大学 尚絅大学短期大学部	P3 - P4
尚絅中学校 尚絅高等学校	P5 - P6
尚絅大学附属こども園	P7
尚絅学園／寄附者芳名録／古本募金	P8
第二期中長期計画（概要）	P9
令和4年度決算の概要と事業報告／令和5年度事業計画	P10 - P13
INFORMATION	P14
入試日程	裏表紙

尚絅学園
SHOKEI



4月中高校長、こども園園長 7月に理事長が交代しました

学校法人尚絅学園 理事長

令和5年5月29日開催の理事会において、学校法人尚絅学園理事の秋岡廣宣(あきおかひろのぶ)氏が学校法人尚絅学園第7代理事長に選出され、令和5年7月1日付で理事長に就任しました。

理事長あいさつ

この度、令和5年(2023年)7月1日付で学校法人尚絅学園の理事長に就任することになりました。微力ではありますが、創立135年の歴史と、脈々と受け継がれてきた伝統ある本学園の更なる発展を目指し、全力を尽くす所存でございます。皆様方のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

教育研究機関を取り巻く環境は、少子化・人口減少、グローバル化、高度情報化等、大きく変化していますが、その中で、私は、本学園の「建学の精神」「教育理念」を堅持しつつ、「新たなチャレンジをキーワードに、熊本で一番古くて一番新しい魅力あふれる女子総合学園を目指したい」と考えております。

変わることを恐れず、地域で存在感のある教育研究機関として、その使命を果たすため鋭意取り組んでいく所存です。前任者同様、今後も更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



理事長 秋岡 廣宣

PROFILE (略歴)

昭和27年(1952年)2月生／熊本県宇城市出身
学歴 早稲田大学商学部卒業
職歴 昭和52年4月 株式会社熊本放送入社
平成26年6月 同社 代表取締役社長
平成28年1月 学校法人尚絅学園 理事・評議員
平成30年6月 株式会社熊本放送 代表取締役会長
令和3年6月 同社 特別顧問
令和5年7月 学校法人尚絅学園 理事長
趣味 ゴルフ

尚絅中学校・尚絅高等学校 校長

打越 博臣 校長 令和5年4月就任

【プロフィール】
 ●出身 昭和38年(1963年)1月 熊本県生まれ
 ●趣味 旅行、温泉巡り、テニス
 ●好きな食べ物 カレー、ラーメン
 ●休日の過ごし方 映画を見る、気になるお店に妻と行ってみる、実家で親と過ごす



尚絅大学附属こども園 園長

松島 和寿 園長 令和5年4月就任

【プロフィール】
 ●出身 昭和35年(1960年)9月 熊本県生まれ
 ●趣味 音楽鑑賞、ジムで汗を流すこと
 ●好きな食べ物 うどん、カレー
 ●休日の過ごし方 ジムで走って汗を流し風呂に入ることと、ロアッソの応援、そしてたまに行くゴルフで休日を楽しんでいます。



就任にあたっての心境と尚絅中学・高等学校の印象について

尚絅創立135年の歴史の長さや重みをひしひしと感じております。最新の設備が充実した綺麗な校舎で学べる生徒たちは本当に幸せだなと思いつつ、校長として、まずは今ここで学ぶ生徒たちの夢実現のため、先生方と一緒に頑張らなければと思っています。

尚絅中学・高等学校の良さは、生徒の飾らない清楚な雰囲気と素直だと思います。

135年の伝統を持つ尚絅学園が果たすべき教育の役割について お聞かせください。

これから生徒たちが生きていく世界は、縦のスケールでは100年という時系列で進んでいく人生100年時代。また、横のスケールではグローバル化という地球全体を視野に入れた世界です。今後、これまで見たこともなかったモノが次々と生まれ、考えたこともなかつた新しい概念が登場してきます。その様な時代を生きていく生徒たちの豊かな生活を実現するためには「建学の精神」を念頭に置いた教育が必要であり、その教育を実践することこそが、本学園が果たすべき役割だと思います。

生徒に望むことや、励ましのお言葉等をお聞かせください。

中学・高校時代は、多様な経験を通じ、視野を広げ、知性を高め、感性を磨き、自分自身の根っことなる基礎基本を作り上げる時期です。そして、自分自身が未だ知らない自分、つまり、自分の中に眠っている可能性を探り当てるための時期なのです。自分は何に興味があり、何が得意なのか。また、自分はどういう人間で、これから先どのようになりたいのかをしっかりとと考え、希望の進路、夢実現のため、大いに学び、大いに鍛えることに挑戦して欲しいと思います。

尚絅大学 尚絅大学短期大学部

こども教育学部こども教育学科スタート！

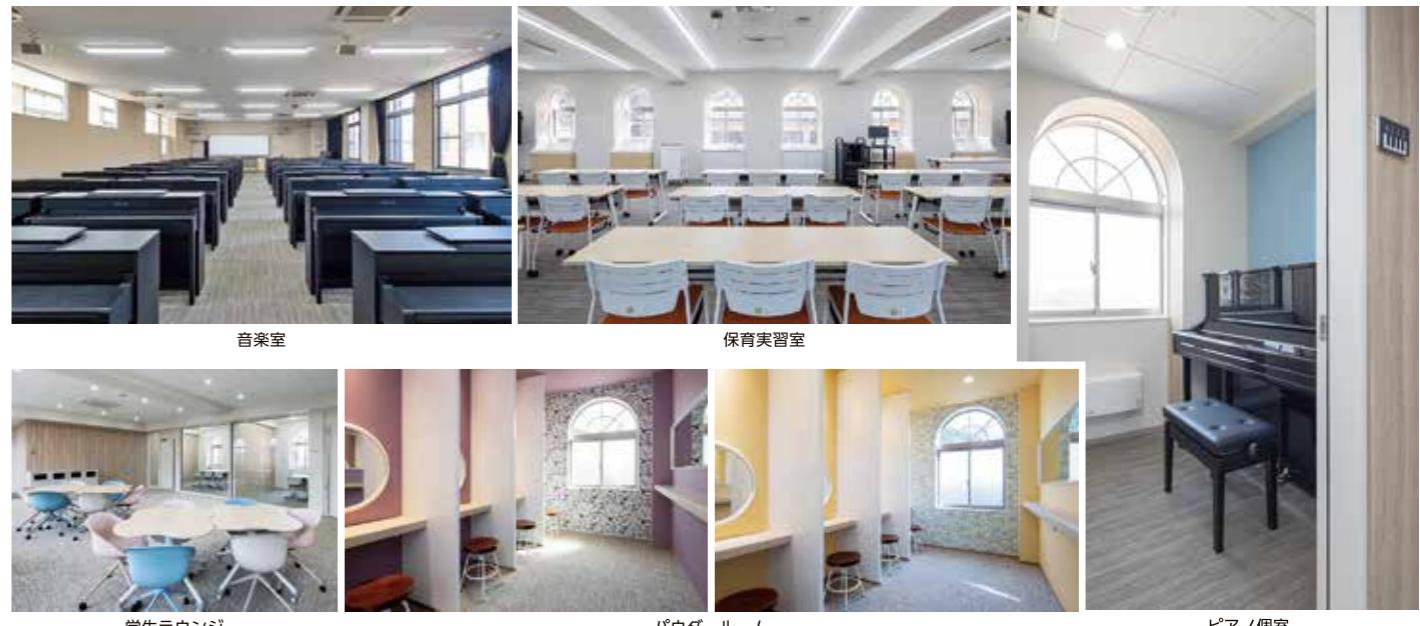
こども教育学部は令和5年4月に開設され、1期生として新入生20名を迎えることになりました。近年の子どもや家庭を取り巻く環境の変化に伴い、保育の質の向上や多様化に対応できる4年制大学への期待が高まっていることから、保育現場をリードする高い専門性と実践力を兼ね備えた保育者を養成することを目的としており、所定の単位を修得することで、幼稚園教諭一種免許状・保育士資格・特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の3つの免許・資格が取得できます。特に特別支援学校教諭一種免許状の取得は、幼稚園やこども園などで特別支援教育コーディネーターとしての役割を担い特別支援教育を推進することや、障害のある子どもの療育で特別支援教育の専門性を生かした保育を中心となって進めることができます。



武蔵ヶ丘キャンパス大学4・5・6号館の改修工事

令和5年4月に開設されたこども教育学部こども教育学科の学生の学びの環境を整備しました。

保育実習室や音楽室、ピアノ個室(15室)、学生ラウンジ等、各階のトイレにはパウダールームを設置し、最新の施設・設備を備えています。



新任教職員紹介

■尚絅大学現代文化学部／文化コミュニケーション学科
村島 健司(准教授)

■尚絅大学こども教育学部／こども教育学科

鄭 英美(教授)
大江 登美子(准教授)
中村 佐里(准教授)
増田 吹子(准教授)
溝上 義則(講師)

■尚絅大学短期大学部／食物栄養学科

清水 健史(教授)
緒方 千尋(助手)
別當 茉奈(助手)

■尚絅大学短期大学部／幼児教育学科
中山 健(講師)
中ノ子 寿子(助教)

■尚絅中学・高等学校
打越 博臣(校長)
本多 潤子(教諭)
松野 研介(教諭)
白井 可奈(講師)
松嶋 宏幸(講師)

■尚絅大学附属こども園
松島 和寿(園長)
五鷗 幸次(運転手)
水野 史郎(運転手)

(令和5年4月1日～6月1日着任)

■尚絅大学・尚絅大学短期大学部／
九品寺キャンパス
森 幹雄(入試課長)
本田 史織(職員)
中尾 早希(職員)
川添 友里衣(職員)

■尚絅大学・尚絅大学短期大学部／
武蔵ヶ丘キャンパス
松本 有加(職員)

※順不同・敬称略



尚絅大学 尚絅大学短期大学部

くまモン学フォーラムを開催しました

令和5年2月18日(土)、尚絅アリーナにおいて、「くまモンのこれまでそしてこれからを考える」をテーマに、熊本県と共に「くまモン学フォーラム」を開催しました。

2月とは思えない穏やかな天気のもと、様々な分野の研究報告やくまモン学を学ぶ学生のプレゼン、歴代課長の座談会と盛り沢山の内容で、熊本県外から140名を含む550名の参加者をお迎えし、笑顔と熱気で包まれたフォーラムになりました。



サクラマチクマモトで本学の取組みが紹介されました

令和5年2月に、映画「湯道」を紹介する「湯道展」の中で、九州観光機構のコンテストで「優秀賞」を受賞した本学学生の「湯道」をテーマとする観光ビジネスプランが紹介されました。

続いて3月にかけて、くまモン誕生から今までのさまざまなエピソード、くまモンを分析した論考、くまモングッズの数々などが展示される「くま主総会」において、本学のくまモン学の研究内容も紹介されました。

多くの来場者が興味深そうに見入っていました。



私立三信高級家事商業職業学校から来訪(台湾・高雄市)

令和5年5月9日(火)に、熊本県及び熊本市の友好交流都市である台湾・高雄市にある私立三信高級家事商業職業学校から、引率教員5名、生徒17名が来訪されました。

日本ならではの、いちご大福を作る和菓子作り体験と浴衣の着付け体験を通して、日本の文化に直に触れていただきました。また、三信高級家事商業職業学校の生徒からは、バーテンダーショーを披露していただき、華麗なパフォーマンスに魅了されました。

短時間ではありましたが、本学を紹介し、今後の更なる交流を深める良い機会となりました。



尚絅大学・尚絅大学短期大学部 学長(左)
私立三信高級家事商業職業学校 校長(右)

いちご大福作り体験

来訪された私立三信高級家事商業職業学校のみなさん

尚絅子育て研究センター

乳幼児保育研究会&保育Caféを開催しています！

令和5年度も、保育の質向上をめざし、現場の保育者の先生方との学びの場である「乳幼児保育研究会」を実施しています。園の先生方からの保育実践報告をもとに、子どもの豊かな育ち、明日の保育に繋げるために、議論を深め合っていきたいと思います。また、研究会終了後は、「保育Café」を開催し、保育の悩みをざっくばらんに話し合う場を設けていきます。

第1回乳幼児保育研究会は、令和5年4月19日(水)に開催しました。報告者は、さくらんぼ保育園の藤田先生、ことな保育園の伴先生でした。社会環境や生活の仕方が変化した現代にあって、身体がかたい、バランスが悪い、食に興味のない子などが見られます。子どもの発達の状態をよく見て、身体をほぐしてあげたり、リズム運動などを取り入れたり、先生と繋がりたい、友達と関わりたい意欲と結びつけること、園での取組みを家庭に伝えるなど、保育ができることがたくさんあることを確認しました。

こうした子育て研究センターの事業については、学園のホームページや子育て研究センター紀要『児やらい』において報告しています。『児やらい』第19巻は令和5年3月24日(金)に発行しました。



生活科学部の学生・卒業生が表彰されました

令和4年度全国栄養士養成施設協会 会長表彰

受賞者:〈令和4年度 生活科学部 卒業生〉 八木 美優さん

この賞は、栄養士課程または管理栄養士課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、一般社団法人全国栄養士養成施設協会が毎年表彰をしているものです。

令和4年度食品科学教育協議会 会長表彰

受賞者:〈令和4年度 生活科学部 卒業生〉 楠元 真優香さん

この賞は、フードサイエンティストの資格取得者の中で、特に優秀な成績を収めた学生に対して授与されるものです。

令和4年度栄養士実力認定試験 成績優良者

この賞は、成績の上位100位までの受験者を成績優良者として表彰し、全国栄養士養成施設協会から「表彰状」と「記念品」を贈呈しているものです。



徳永 彩夏さん(生活科学部4年)

堀 瑞希さん(生活科学部4年)

第17回 牛乳・乳製品を使った 料理コンクールにて学生が入賞 (優秀賞)しました

令和5年2月4日(土)、熊本県酪農女性部協議会とらくのうマザーズ主催の『第17回 牛乳・乳製品を使った料理コンクール』が開催されました。応募総数の157通の作品の中から書類選考で選ばれた7点が実技審査に挑み、生活科学部2年村中萌花さんと松本和さんが「ごはん・おかず部門」と「デザート部門」で優秀賞を受賞しました。

【ごはん・おかず部門】 優秀賞
生活科学部 村中 萌花さんの作品



チーズづくしのチキンカツ

【デザート部門】 優秀賞
生活科学部 松本 和さんの作品



ベリークラフティ

生活科学部×湯前町との 連携事業を行いました



生活科学部では、令和3年度より湯前町との連携事業を実施しました。

令和4年度は、湯前町で試験栽培されているお米「ぴかまる」の認知度向上のため、生活科学部の学生がレシピ提案やぴかまるPR動画作成などのお手伝いをしました。

令和4年11月13日(日)には、熊本県湯前町で開催された「ゆのまえ漫画フェスタ」に生活科学部の学生が参加しました。尚絅大学ブースでは、ぴかまるのおにぎりを配布して、湯前産ぴかまるのPRや食味に関するアンケートなどを実施しました。



当日の様子をYouTubeに公開していますので、ぜひご覧ください！





尚絅中学校 尚絅高等学校

高校卒業式

令和5年3月1日(水)尚絅アリーナにおいて、第75回卒業証書授与式を挙行しました。ご来賓の方々や多くの保護者のみなさまに見守られ、厳かな雰囲気の中、心温まる式が執り行われました。

式後のホームルームでは、保護者の見守る中で担任の先生から一人ひとり卒業証書を受け取り、生徒たちは改めて高校卒業を実感するとともに、仲間と写真を撮り、メッセージを交換し、高校生活最後の時間を過ごしました。189名の卒業生が名残惜しくも学舎を旅立っていきました。



中学卒業式

令和5年3月9日(木)に中学3年生の卒業証書授与式を行いました。校長先生からの卒業証書授与、祝辞の後、担任の先生からのメッセージと続きました。最後は卒業生がこれまでの生活を振り返り、涙ながらに周りの人たちへの感謝の気持ちや高校での決意を述べました。一人ひとりの成長した姿に拍手やエールが送られ、とても良い式になりました。



中高入式

令和5年4月11日(火)尚絅アリーナにおいて、尚絅中学校、高等学校の入学式を挙行しました。穏やかな空の下、新生活への希望を胸に新しい制服に身を包んだ新入生が登校し、晴れやかな表情を見せてくださいました。入学式では、校長先生の入学許可宣言に続く式辞、理事長お祝いの言葉の後に、中学生、高校生の新入生代表がそれぞれ誓いの言葉を述べました。

今年の入学式では、ギター・マンドリン部の演奏や合唱部と剣道部による校歌披露、国歌斉唱など、少しづつコロナ以前の風景が戻ってきました。

式後のホームルームで担任の先生の話に真剣に耳を傾ける新入生の姿は、とても初々しいものでした。



ウィーンの音色が届いた春～ふれあいコンサート～

令和5年4月14日(金)尚絅アリーナにて、「2023 ウィーン・プレミアム・コンサート トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン 次世代プログラム 感動をお届けする『ふれあいコンサート』」が行われました。本公演はトヨタ自動車の社会貢献活動の一環として全国で選ばれた学校で実施されました。当日はモーツアルト「フィガロの結婚」より序曲など4曲が披露され、本校吹奏楽部が感謝の気持ちを込めて「オーメンズ・オブ・ラヴ」を演奏しました。

演奏を聴いた中学・高校の生徒たちは、超一流の音の迫力や美しさ、息の合ったアンサンブルに感動している様子でした。終演後は生徒会長が謝辞を述べ、生徒会役員たちが花束と記念品を贈呈しました。全校生徒で美しい音楽に触れ、楽しい豊かな時間となりました。



「尚絅の森」で校外学習

令和4年12月2日(金)、中学2年生が阿蘇市西小園の「尚絅の森」で植樹活動を行いました。生徒からは「斜面での作業だったのでとても疲れました。木を植えるのは大変なので、森を大切にしていこうと思いました」「今回植えた苗が大きく成長して欲しいです」となどの感想が寄せられました。

今後、生徒たちは約半年後に再度現地での下草刈りを行い、学びを深める予定です。



「食」の大切さを学ぶ～尚絅中大連携授業～



令和5年2月16日(木)、尚絅中学校と尚絅大学の連携で、中学2年生が「食と環境」について学ぶ授業に取り組みました。今回は、中学校の教室に尚絅大学生活科学部栄養科学科の澤部加奈子先生を講師としてお招きし、講話をしていただきました。

生徒たちは、食べ物の大切さ、自給率や調理・保存の工夫など、具体的な話に興味津々の様子でした。

ランナーを全力応援！～熊本城マラソンボランティア～

令和5年2月19日(日)に、本校生徒・教職員90名ほどで熊本城マラソン給水ボランティアをしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年は中止を余儀なくされてきましたが、今年は3年振りに開催されました。記念すべき10回目の節目を迎え、コース沿道には応援に駆け付けた人々の姿も多くあり、小雨の降る中でしたが大変な盛り上がりでした。

参加した本校生徒たちは担当エリアとなった平成大通りにある江越橋付近(第一給水所)で、熊本城マラソンの“Road to smile”的テーマのもと、笑顔で給水しながら1万2千人のランナーにエールを送りました。



祝「令和4年度文部科学大臣優秀教職員」受賞

「令和4年度文部科学大臣優秀教職員」に本校英語科の佐藤直美教諭が選ばれ、令和5年1月18日(水)東京で行われた表彰式に出席し、表彰状を授与されました。

佐藤教諭は本校中高一貫コース主任で、主に中高一貫コースの中高生の授業を担当しており、国際交流やグローバル教育の推進も担っています。英語暗唱・弁論やスキット、ディベート等を含め、継続した指導に尽力し、生徒を全国大会出場に導いたこれまでの貢献や英語教育の推進に寄与した功績を評価されました。



「『小さな親切』実行章」授与

英語講師のウォーターマン・ジュリー先生が、「小さな親切」運動熊本県本部である熊本銀行の淀川穀支店長から、「小さな親切」実行章を授与されました。通勤前の1時間程度、自宅周辺の清掃を10年以上にわたり毎日行われていることが知られ、今回の受賞となりました。

ウォーターマン先生は、昭和58年に初来日し、平成15年に来熊。日本の学校では掃除を生徒が行うということに新鮮な驚きがあり、自分でやってみようと思ったことがきっかけで、“I want to say thank you to Japan.(ありがとうございます、日本)”という気持ちで、悪天候の日でも欠かさず清掃活動を続けているそうです。





尚絅大学附属こども園

生活発表会

令和4年度の生活発表会を、令和5年2月に行いました。年少組と年中組は各クラスで、年長組は3クラス合同で、遊戯室にて実施しました。

年長組のテーマは、表現遊び「虹色の羽根の仲間達」でした。今回の表現遊びを創るきっかけになったのは「ツバメ」という曲です。園児達はいろいろな鳥に興味・関心を示し、いろいろな鳥のお話を作ることを楽しみました。

まずは、タカさんがキラキラの羽根を自慢します。カラスさん、クジャクさん、フラミンゴさん、オウムさん、ツバメさん、スズメさん達は、次々に好きなことや得意なことを披露して、その羽根をゲットすることができました。そして、表現遊びの最後に、みんなと一緒に「ツバメ」を踊りました。

後半は、各クラスの演奏へと続きました。ほし組は「さんぽ」、つき組は「夢をかなえてドラえもん」、にじ組は「おもちゃの兵隊」です。最後に、全員で「6歳の歌」を合唱して、生活発表会を終了しました。保護者の皆さまはお子さまの成長を感じられた1日となったことだと思います。



修了証書授与式(卒園式)

令和5年3月17日(金)に令和4年度(第54回)修了証書授与式を行いました。令和2年度、3年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、クラス毎に実施しましたが、4年度は3年振りに年長組3クラス合同での開催となりました。

園長から一人ひとりに修了証書を手渡し、総勢83名の園児が本園を卒業して行きました。4月からは新1年生です。卒園児のみなさんが健やかに成長されることを願ってやみません。



入園式

令和5年4月13日(木)に令和5年度の入園式を行いました。式には、今年度入園の84名、昨年度途中入園の7名の計91名の園児とその保護者が出席しました。

園長による式辞の後、年長組在園児の歌と教員代表数名でのハンドベルによる「チューリップ」の演奏で、新入園児を歓迎しました。最後に、0歳ひよこ組から年長組までの各クラス担任の紹介を行いました。

数年振りに従来同様の入園式が挙行できたことをうれしく思います。新型コロナウィルスも5類感染症へ移行されたことにより、園児達のこれから的生活が通常に戻り、日々の遊びや園での行事等を通して、成長していく様子を見られることが今から楽しみです。



園長先生の式辞には、アンパンマンも応援に駆け付けました。

在園児がお祝いの歌を披露しました。



「尚絅学園みらい募金」

— 奨学資金および教育研究振興の充実のための募金 —について

本学園は、明治21年(1888年)の創立以来、建学の精神である「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」、教育理念である「尚絅表面を飾らず内面の充実に努める」をミッションとし、お蔭様をもって令和5年(2023年)に創立135周年を迎えました。伝統と実績を踏まえつつ、こども園から大学までの各設置校において、質の高い教育を行い、学生・生徒等の学修成果の達成と充実した学園生活の実現に向けて、全教職員が一丸となって取り組んでおります。

変化の激しい現代社会では、様々な場面で、時代の変化に対応して未来を切り開く人材が求められており、あらゆる分野で女性の社会進出が進んでいます。

本学園は、これからも魅力溢れる女子総合学園として、希望に満ち溢れる学生に幅広い学びの機会を提供し、社会に貢献する人材を育成するため、新たな奨学資金および教育研究振興の充実のため、「尚絅学園みらい募金」の募集を開始することといたしました。

以上の趣旨をお汲みいただき、厳しい経済情勢下ではありますが、どうか皆様のご支援・ご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

学校法人 尚絅学園 理事長 秋岡 廣宣

[お問い合わせ先] 学校法人尚絅学園 学園事務局総務部経理課 寄附金担当
〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6番78号
[TEL]096-364-0116 [FAX]096-363-6520
[E-mail]keiri@shokei-gakuen.ac.jp

尚絅学園創立130周年記念募金の報告と受付終了について

平成30年4月より開始いたしました「尚絅学園130周年記念募金」は令和4年度をもって終了しました。

寄せられた寄附金は、九品寺キャンパス大学7号館の新校舎建設やこども教育学部設置に向けての施設設備の整備等に活用させていただきました。皆様の温かいご支援、誠にありがとうございました。

【尚絅学園130周年記念募金報告】

■受入実績 第1期 43件 12,243,502円 第2期 12件 13,750,000円 計55件 25,993,502円

寄附者芳名録

令和4年11月1日～令和5年3月31日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄附金内訳

個人・法人等 1件 / ¥3,000,000	現役・教職員 1件 / ¥200,000	合計 2件 / ¥3,200,000
------------------------	----------------------	--------------------

卒業生・現役・教職員・個人・法人 (順不同)

坂田 敦子様	尚絅学園後援会様
--------	----------

「尚絅学園古本募金」

「尚絅学園古本募金」は、取引集荷・査定換金・募金送金の運営を「古本基金きしゃぽん」(運営:嵯峨野株式会社)に委託して実施しています。皆様からのご支援をお待ちしております。

尚絅学園古本募金状況について

令和4年11月1日～令和5年4月30日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、寄附金状況をご報告させていただきます。

寄附金内訳

個人・法人等 1件 / ¥100	現役・教職員 1件 / ¥6,502	合計 2件 / ¥6,602
------------------	--------------------	----------------

〈WEBで申込む〉 尚絅学園 古本募金



〈電話で申込む〉 0120-29-7000

Kishapon.com/shokei-gakuen/ (受付)24時間・365日

オペレーターに団体ID [172]とお伝えください。(受付)9時～18時・365日

【お申込みと集荷について】 電話またはWEBからお申し込みただくだけで、ご指定の時間にご自宅まで宅配業者が受け取りに伺います。

5冊(5点)以上であれば送料無料です。



第二期中長期計画は、尚絅学園の現状と課題、本学園を取巻く環境変化及び今後の方針性を踏まえ、今後10年間(2023年度～2032年度)の本学の目指すべき姿(ビジョン)を掲げ、その達成のために中長期的に取り組む重点施策を取りまとめたものです。その内容は、①学園及び各設置校のビジョン(目指すべき姿)の設定、②ビジョン達成のための目標と、目標達成の基準となる評価指標(KPI=Key Performance Indicator)の設定、③責任体制の明確化(主となる委員会・会議や部署等及び執行責任者・執行責任部署の明示)と意思決定の迅速化、④評価指標ごとに諸施策の立案・展開、⑤中期財務計画(中期人員計画、中期施設整備計画)の設定を基本としています。

学園及び各設置校のビジョンの策定

2013年にスタートした第一期「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」において、長期ビジョンとして「学園全体の目指すべき姿(将来像)」並びに「法人及び設置校の5年後・10年後のあるべき姿」を策定したが、第二期中長期計画においては、学園全体と法人は極めてニアイコールであることから、改めて学園と法人のビジョンを別立てとせず、学園及び各設置校のビジョンに改変し、学園及び各設置校は中長期計画の最終年度まで、それぞれが掲げたビジョンを完遂することで、一層の明確化を図りました。

尚絅学園及び各設置校のビジョン(目指すべき姿)

学園の ビジョン

- 建学の精神・教育理念に則った社会に貢献し得る女性の育成を具現化するための教育を、各設置校において適切に行う
- 尚絅で学んで良かったと学生・生徒等が真に思う魅力溢れる女子総合学園を目指す
- 地域に貢献し、地域で存在感のある教育・研究機関を目指す
- 学園の持続的発展のために、収支均衡を達成し、堅固な財務基盤を確保する

大学・ 短期大学部の ビジョン

- 教育の質向上により、社会に貢献する女性を育成する
- 学修環境や学生支援を充実させ、学生生活の満足度を高める
- 研究力を強化し、学術の進歩や地域社会に貢献する
- 社会から支持される大学を実現する
- 本学の学びに共感し、本学を選ぶ学生を十分確保する

高等学校・ 中学校の ビジョン

- 教育の質向上を礎に、自ら課題を見つけ解決する力を身につけ、グローバル社会で活躍できる女性を育成する
- 利他のために考え方行動することができる品性のある生徒を育成する
- 学習環境や生徒支援を充実し、生徒の満足度を高める
- 社会のニーズに応じて、地域に開かれた学校として地域活性化に貢献できる学校を実現する
- 「建学の精神」「教育理念」を尊重し、修学意欲の高い生徒を安定的に確保する

附属こども園の ビジョン

- 社会を生き抜く未来の創り手を育成する
- 安心の子育て支援を通して、よりよい社会づくりに貢献する
- 大学・短大附属園として、次世代保育者を育成する
- 尚絅らしさを生かして園児を確保する

この他の項目や詳細につきましては、尚絅学園HPに公開しています。



学校法人尚絅学園 令和4年度決算の概要

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の令和4年度決算は、令和5年5月29日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の額末を明らかにしています。

資金収支計算書要約 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:百万円)

資金収入の部	令和4年度	前年度	増減
学生生徒等納付金収入	1,380	1,443	△ 63
手数料収入	20	20	0
寄付金収入	6	11	△ 5
補助金収入	787	829	△ 42
資産運用収入	0	0	0
資産売却収入	0	0	0
事業収入	1	3	△ 2
雑収入	61	104	△ 43
借入金等収入	600	0	600
前受金収入	410	450	△ 40
その他の収入	743	306	437
資金収入調整勘定	△ 517	△ 619	102
前年度繰越支払資金	787	581	206
収入の部合計	4,278	3,128	1,150
資金支出の部	令和4年度	前年度	増減
人件費支出	1,526	1,568	△ 42
教育研究経費支出	446	427	19
管理経費支出	240	143	97
借入金等利息支出	6	4	2
借入金等返済支出	233	0	233
施設関係支出	891	3	888
設備関係支出	160	50	110
資産運用支出	5	110	△ 105
その他の支出	72	76	△ 4
資金支出調整勘定	△ 43	△ 40	△ 3
支出の部合計	3,535	2,341	1,194
次年度繰越支払資金	743	787	△ 44
支出の部合計	4,278	3,128	1,150

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒等納付金収入は1,380百万円となり、前年度比63百万円減少しました。また、補助金収入として787百万円を計上し、前年度比42百万円減少しました。

学生生徒等納付金収入及び補助金収入における減少要因は、学生・生徒・園児の在籍数が前年度より112名減少していることによるものです。

支出の部では、人件費支出は1,526百万円であり、前年度比42百万円減少しました。教育研究経費支出は446百万円で前年度比19百万円増加、管理経費支出は240百万円で前年度比97百万円増加しました。

管理経費支出における増加要因は、武蔵ヶ丘キャンパスの建物改修工事を行った際の経費計上によるものです。以上の結果により、次年度繰越金は743百万円となり前年度比44百万円減少いたしました。

(2)事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。

事業活動収支計算書要約 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:百万円)

事業活動収入の部	令和4年度	前年度	増減
(教育活動収入計)	(2,250)	(2,397)	△ 147
学生生徒等納付金	1,380	1,443	△ 63
手数料	20	20	0
寄附金	2	2	0
経常費等補助金	786	826	△ 40
付随事業収入	1	3	△ 2
雑収入	61	104	△ 43
(教育活動外収入計)	(0)	(0)	△ 1
受取利息・配当金	0	0	0
(特別収入計)	(9)	(16)	△ 7
現物寄付等	9	16	△ 7
事業活動収入計	2,260	2,413	△ 153
事業活動支出の部	令和4年度	前年度	増減
(教育活動支出計)	(2,650)	(2,595)	(55)
人件費	1,532	1,560	△ 28
教育研究経費	820	826	△ 6
〔内燃学費〕	(177)	(183)	△ 6
〔内減価償却額〕	(374)	(399)	△ 25
管理経費	299	208	91
〔内減価償却額〕	(49)	(54)	△ 5
(教育活動外支出計)	(6)	(4)	(2)
借入金等利息	6	4	2
(特別支出計)	(5)	(27)	△ 22
資産処分差額	5	27	△ 22
事業活動支出計	2,662	2,625	37
基金組入前当年度収支差額	△ 402	△ 212	△ 190
基金組入額	△ 554	0	△ 554
当年度収支差額	△ 956	△ 212	△ 744
基金取崩額	0	147	△ 147

事業活動収支計算書の収入の部、支出の部については、資金収支計算書の収入の部、支出の部と同様の項目が多く含まれています。令和4年度の事業活動収支計算書における特徴的なものは、学生生徒等納付金及び経常費等補助金の減少を主要因とした事業活動収入が前年度比153百万円減少したことに対し、人件費の減少及び武蔵ヶ丘キャンパス改修工事に係る管理経費の増加を主要因とした事業活動支出が前年比37百万円の増加となりました。

その結果、教育活動収支差額は△400百万円となり、前年度比△203百万円悪化しました。同様に基金組入前当年度収支差額は△402百万円となり、前年度比△190百万円悪化しました。

